

シンポジウムの開催について

平成19年5月16日

京都議定書の発効を受けて、モーダルシフトの推進は今や国家的課題になっています。これに加えて、道路混雑、トラックドライバー不足等の諸課題も顕在化しており、これら喫緊の課題に対応できる鉄道貨物輸送への期待が高まっています。

こうした状況を受けて「環境時代における鉄道貨物の役割を再評価すること及び国民的合意を得ること」を目的に、下記によりシンポジウムが開催されます。

1．開催日時 平成19年6月1日（金） 13時30分～15時30分

2．開催場所 千代田放送会館（千代田区紀尾井町1-1）

3．主 催 物流改革シンポジウム2007実行委員会
（NPO法人環境システム研究会・JR貨物・
（社）全国通運連盟・JRFグループ経営者連合会）

4．シンポジウム名 「環境時代の物流改革～欧米先進モデルと日本～」

5．プログラム

(1)トーク「“不都合な真実”を超えて」

環境ジャーナリスト 枝廣 淳子氏

(2)パネルディスカッション

日本の物流の現状とモーダルシフトの進捗状況

物流のグローバルデザインと日本へのヒント

～欧米のモーダルシフト先進事例～

日本の物流改革は、そしてモーダルシフトへの道筋・ビジョンは

（パネリスト） 中村 英夫氏（武蔵工業大学学長）

枝廣 淳子氏（環境ジャーナリスト、翻訳家）

平山 芳昭氏（国土交通省政策統括官）

岡部 正彦氏（（社）日本物流団体連合会会長）

伊藤 直彦氏（日本貨物鉄道株式会社社長）

（コーディネーター）横島 庄治氏（NPO法人環境システム研究会理事長）